

〈特集〉 テーマ一覧

巻 号 (年 月)	から…………… 6 : 5・6 (1972. 10)
脳卒中のリハビリテーション …… 1 : 1 (1967. 1)	脳性まひのリハビリテーション
慢性関節リウマチのリハビリテ ーション …… 1 : 2 (. 5)	〈特大号〉 …… 6 : 7 (. 12)
脳性麻痺のリハビリテーション … 1 : 3 (. 8)	PT・OT と外科…………… 7 : 1 (1973. 1)
脊髄損傷のリハビリテーション … 1 : 4 (. 11)	小児の切断 …… 7 : 3 (. 3)
	失調症 …… 7 : 5 (. 5)
各種神経疾患のリハビリテーショ ン …… 2 : 1 (1968. 2)	臨床記録—その本質と実際 …… 7 : 7 (. 7)
精神医学領域のリハビリテーショ ン …… 2 : 2 (. 4)	リウマチのリハビリテーション … 7 : 8 (. 8)
切 断 …… 2 : 3 (. 6)	精神科作業療法における作業分析 …………… 7 : 9 (. 9)
腰痛のリハビリテーション …… 2 : 4 (. 8)	脊髄損傷…………… 7 : 10, 11 (. 10, 11)
歩 行 …… 2 : 5 (. 10)	第 8 回 PT 学会・第 7 回 OT 学会… 7 : 12 (. 12)
セラピストと教育 …… 3 : 1 (1969. 2)	訪問指導とその問題点 …… 8 : 2 (1974. 2)
老人医学とリハビリテーション … 3 : 2 (. 4)	切 断 …… 8 : 4 (. 4)
日常生活動作 …… 3 : 3 (. 6)	痛 み …… 8 : 6 (. 6)
手の外科とリハビリテーション … 3 : 4 (. 8)	第 9 回日本理学療法士学会 …… 8 : 9 (. 9)
PT 学会・OT 学会から …… 3 : 5 (. 10)	第 8 回日本作業療法士協会学会 … 8 : 10 (. 10)
精神科作業療法をめぐって …… 3 : 6 (. 12)	精神医療における作業療法士の歩 み …… 8 : 11 (. 11)
PT・OT と職業復帰…………… 4 : 1 (1970. 2)	PT・OT 教育の現状と課題…………… 9 : 1 (1975. 1)
重症心身障害児と PT・OT…………… 4 : 2 (. 4)	老 人…………… 9 : 2・3 (. 3)
小児のリハビリテーション …… 4 : 3 (. 6)	ADL …… 9 : 4 (. 4)
脳卒中 …… 4 : 4 (. 8)	PT・OT における管理・運営・倫 理 …… 9 : 5 (. 5)
第 4 回日本作業療法士協会学会か ら …… 4 : 5 (. 10)	新任職員に対する院内教育 …… 9 : 6 (. 6)
第 6 回 WCPT 国際学会・第 5 回 WFOT 国際学会から …… 4 : 6 (. 12)	整形外科的疾患から …… 9 : 7 (. 7)
	ジストロフィー …… 9 : 8 (. 8)
第 5 回日本理学療法士学会から … 5 : 1 (1971. 2)	脳性まひの治療 …… 9 : 9 (. 9)
脳性マヒ …… 5 : 3 (. 6)	ホームプログラム …… 9 : 10 (. 10)
呼吸不全 …… 5 : 4 (. 8)	脳卒中 …… 9 : 11 (. 11)
脳卒中のリハビリテーション	精神医療における作業療法士のあ り方 …… 9 : 12 (. 12)
〈特大号〉 …… 5 : 6 (. 12)	
臨床教育 …… 6 : 1 (1972. 2)	PT・OT におけるリスクとその対 策 …… 10 : 1 (1976. 1)
リスク管理 …… 6 : 2 (. 4)	整形外科的疾患から …… 10 : 2 (. 2)
研究をめぐって …… 6 : 3 (. 6)	診療記録 …… 10 : 3 (. 3)
四肢まひ …… 6 : 4 (. 8)	精神薄弱 …… 10 : 4 (. 4)
第 7 回 PT 学会・第 6 回 OT 学会	ICU …… 10 : 5 (. 5)

頭部外傷と PT・OT	10: 6 (1976. 6)	精神神経症と理学療法・作業療法	13: 7 (. 7)
義肢	10: 7 (. 7)	新しいリハビリテーション医療器	
研究法	10: 8 (. 8)	具	13: 8 (. 8)
難病	10: 9 (. 9)	家庭療育と自主トレーニング	13: 9 (. 9)
職業的リハビリテーション	10: 10 (. 10)	理学療法士・作業療法士に関連のあ	
わが国の PT・OT の歴史	10: 11 (. 11)	る社会資源	13: 10 (. 10)
運動療法〈特大号〉	10: 12 (. 12)	老年医学の基礎とリハビリテー	
理学療法最近の進歩	11: 1 (1977. 1)	ション	13: 11 (. 11)
新しい義肢・装具	11: 2 (. 2)	産婦人科と理学療法・作業療法	13: 12 (. 12)
脳性麻痺の評価	11: 3 (. 3)	・80 年代の幕明けを迎えて	14: 1 (1980. 1)
作業療法最近の進歩	11: 4 (. 4)	理学療法・作業療法の法的側面	14: 1 (. 1)
レクリエーションとスポーツ	11: 5 (. 5)	診療報酬	14: 2 (. 2)
筋トヌス異常と不随意運動	11: 6 (. 6)	精神障害への理学療法・作業療法	14: 3 (. 3)
地域における理学療法士・作業療法		教育	14: 4 (. 4)
士	11: 7 (. 7)	脳性麻痺(成人を中心として)	14: 5 (. 5)
整形外科的疾患から	11: 8 (. 8)	片麻痺患者のリハビリテーション	
理学療法士・作業療法士と法	11: 8 (. 8)	目標	14: 6 (. 6)
職業前評価と就労	11: 9 (. 9)	老人	14: 7 (. 7)
障害受容と援助法	11: 10 (. 10)	理学療法・作業療法と電子工学	14: 8 (. 8)
脳卒中と理学療法・作業療法	11: 11 (. 11)	養護・訓練と理学療法・作業療法	14: 9 (. 9)
理学療法士・作業療法士とバイオメ		小児の脊髄障害	14: 10 (. 10)
カニズム	11: 12 (. 12)	整形外科的疾患から	14: 11 (. 11)
卒後教育・臨床教育	12: 1 (1978. 1)	国際障害者年を迎える	14: 12 (. 12)
整形外科的疾患から	12: 2 (. 2)	リハビリテーション機器〈特大号〉	15: 1 (1981. 1)
脳卒中	12: 3 (. 3)	重度障害者のリハビリテーション	
慢性関節リウマチと理学療法・作業			15: 2 (. 2)
療法	12: 4 (. 4)	学習障害	15: 3 (. 3)
精神科作業療法の展望	12: 5 (. 5)	教育	15: 4 (. 4)
筋萎縮性疾患	12: 6 (. 6)	物理療法	15: 5 (. 5)
内部疾患の理学療法・作業療法	12: 7 (. 7)	精神分裂病の作業療法	15: 6 (. 6)
脳性麻痺	12: 8 (. 8)	整形外科	15: 7 (. 7)
特養・在宅のリハビリテーション	12: 9 (. 9)	デイ・ケア	15: 8 (. 8)
ダウン症と理学療法・作業療法	12: 10 (. 10)	面接技術	15: 9 (. 9)
義肢・装具ハンドブック〈特大号〉	12: 11 (. 11)	脳血管障害	15: 10 (. 10)
脊髄損傷自立への側面	12: 12 (. 12)	上肢切断	15: 11 (. 11)
理学療法・作業療法の学問体系をど		診療報酬	15: 12 (. 12)
うするか	13: 1 (1979. 1)	日常生活動作	16: 1 (1982. 1)
評価	13: 2 (. 2)	老人	16: 2 (. 2)
重複障害	13: 3 (. 3)	脳性麻痺(成人)	16: 3 (. 3)
特殊教育と理学療法士・作業療法士		臨床教育の目標と指導計画	16: 4 (. 4)
	13: 4 (. 4)	頸髄損傷	16: 5 (. 5)
ファシリテーション・テクニック			

精神科作業療法における評価の実 際16: 6 (1982. 6)	障害者ドライビング19: 6 (1985. 6)
手の外科16: 7 (. 7)	脳性麻痺の治療の実際19: 7 (. 7)
評 価16: 8 (. 8)	QOL(クオリティ・オブ・ライフ) ...19: 8 (. 8)
脳卒中16: 8 (. 9)	呼吸機能障害19: 9 (. 9)
難病のリハビリテーション16: 10 (. 10)	整形外科19: 10 (. 10)
障害者の性と結婚16: 11 (. 11)	体力増強と評価19: 11 (. 11)
慢性関節リウマチ16: 12 (. 12)	理学療法・作業療法の医療経済にお ける効率的側面19: 12 (. 12)
最近の国際的動向17: 1 (1983. 1)	理学療法と作業療法 20 年の歩み...20: 1 (1986. 1)
脳卒中17: 2 (. 2)	脳卒中の早期治療20: 2 (. 2)
シンポジウム：専門職としての倫 理17: 3 (. 3)	治療効果の判定20: 3 (. 3)
臨床教育17: 4 (. 4)	シンポジウム・研究法を考える ...20: 4 (. 4)
心身症17: 5 (. 5)	治療用設備(よく使う治療器具、使 わない器具).....20: 5 (. 5)
地域リハビリテーション活動17: 6 (. 6)	うつ状態20: 6 (. 6)
内部障害17: 7 (. 7)	整形外科20: 7 (. 7)
精神科作業療法の治療手技17: 8 (. 8)	終末ケアにおける理学療法・作業療 法20: 8 (. 8)
褥 創17: 9 (. 9)	スポーツ医学20: 9 (. 9)
理学療法・作業療法の将来17: 10 (. 10)	リハビリテーション施設体系20: 10 (. 10)
整形外科17: 11 (. 11)	痴呆を合併する患者の理学療法・作 業療法20: 11 (. 11)
カウンセリング17: 12 (. 12)	疼痛の理学療法20: 12 (. 12)
管 理18: 1 (1984. 1)	総索引号(第 1 巻第 1 号～第 20 巻 第 12 号)20: 13 (. 12)
癌18: 2 (. 2)	訪問指導21: 1 (1987. 1)
急性期心肺疾患の理学療法18: 3 (. 3)	関節運動学的アプローチ21: 2 (. 2)
理学療法・作業療法のカリキュラム の検討18: 4 (. 4)	整形外科21: 3 (. 3)
精神科集団作業療法18: 5 (. 5)	脳性麻痺等の早期治療・訓練21: 4 (. 4)
脳血管障害と補装具18: 6 (. 6)	内部障害21: 5,6 (. 5,6)
学会のあり方、協会の必要性を探る18: 7 (. 7)	音楽療法21: 7 (. 7)
老人保健事業の現状と展望18: 8 (. 8)	臨床教育／疾患・障害別にみた到達 目標21: 8 (. 8)
整形外科18: 9 (. 9)	臨床教育／記録指導の実際21: 9 (. 8)
障害児教育18: 10 (. 10)	身体障害者スポーツ21: 9 (. 9)
進行性筋ジストロフィー18: 11 (. 11)	筋萎縮性側索硬化症(ALS)21: 10 (. 10)
脳性麻痺に対する生活動作指導 ...18: 12 (. 12)	脳卒中リハビリテーションの再検 討21: 11 (. 11)
シンポジウム：チーム医療の人間 関係19: 1 (1985. 1)	寒冷地におけるリハビリテーショ ン21: 12 (. 12)
脳卒中患者のフォローアップ19: 2 (. 2)	理学療法, 作業療法と隣接学際領域22: 1 (1988. 1)
職域拡大への展望19: 3 (. 3)	
教育(理学療法・作業療法の教授法 を中心に).....19: 4 (. 4)	
精神遅滞19: 5 (. 5)	

業務独占	22: 2 (1988. 2)	脳卒中：回復期以降の理学療法を 中心に	25: 1 (1991. 1)
感覚統合療法の効果と限界	22: 3 (. 3)	体幹機能	25: 2 (. 2)
医療技術者教育	22: 4 (. 4)	運動療法・I：運動療法の基礎知識	25: 3 (. 3)
Parkinson 病	22: 5 (. 5)	運動療法・II：運動療法の種類と適 応	25: 3 (. 3)
手すり	22: 6 (. 6)	卒後教育	25: 4 (. 4)
整形外科	22: 7 (. 7)	理学療法学科新入学生のための学 生生活オリエンテーション	25: 4 (. 4)
精神科デイケアと作業療法	22: 8 (. 8)	整形外科疾患の理学療法	25: 5 (. 5)
物理療法	22: 9 (. 9)	日常生活動作(ADL)	25: 6 (. 6)
家庭復帰に必要な条件	22: 10 (. 10)	理学療法カリキュラムの在り方を 探る	25: 7 (. 7)
脳卒中	22: 11 (. 11)	糖尿病と理学療法	25: 7 (. 7)
リウマチ	22: 12 (. 12)	重度障害児の理学療法	25: 8 (. 8)
理学療法の展望	23: 1 (1989. 1)	痴呆と理学療法	25: 9 (. 9)
不全四肢麻痺：高齢者を中心に	23: 2 (. 2)	理学療法処方をめぐる	25: 10 (. 10)
卒後教育(含新人教育)	23: 3 (. 3)	職場運営と業務の見直し	25: 11 (. 11)
拘縮	23: 4 (. 4)	ホームプログラム	25: 11 (. 11)
理学療法学科新入生への学生生活 オリエンテーション	23: 4 (. 4)	地域・在宅の理学療法	25: 12 (. 12)
先天性疾患	23: 5 (. 5)	脳卒中	26: 1 (1992. 1)
通所・訪問リハビリテーションの技 術	23: 6 (. 6)	内部疾患と理学療法	26: 2 (. 2)
脳性麻痺の理学療法と手術および 装具療法	23: 7 (. 7)	隣接領域における理学療法教育	26: 3 (. 3)
医療事故	23: 8 (. 8)	高齢者のスポーツおよびレクリ エーション	26: 4 (. 4)
筋萎縮性疾患	23: 9 (. 9)	新人理学療法士へのメッセージ	26: 4 (. 4)
下肢切断の理学療法	23: 10 (. 10)	院内感染	26: 5 (. 5)
筋力増強	23: 11 (. 11)	骨粗鬆症をめぐる	26: 5 (. 5)
整形外科	23: 12 (. 12)	整形外科	26: 6 (. 6)
脳血管障害	24: 1 (1990. 1)	ゴール設定	26: 7 (. 7)
履物	24: 2 (. 2)	老人保健施設の理学療法	26: 7 (. 8)
苦労した症例報告集	24: 3 (. 3)	福祉機器	26: 8 (. 9)
老人保健施設の理学療法	24: 4 (. 4)	中高年脳性麻痺者の問題点	26: 9 (. 10)
理学療法学科新入学生への学生生 活オリエンテーション	24: 4 (. 4)	ADL と QOL	26: 10 (. 11)
急性期の理学療法	24: 5 (. 5)	終末期ケアと理学療法	26: 12 (. 12)
脳性麻痺児の発達過程と理学療法	24: 6 (. 6)	患者の人権	27: 1 (1993. 1)
起居動作	24: 7 (. 7)	脳卒中における廃用・過用・誤用と 理学療法	27: 2 (. 2)
ハイリスク・体力消耗状態	24: 8 (. 8)	障害者と生活指導	27: 3 (. 3)
診療報酬	24: 9 (. 9)	脊髄損傷	27: 4 (. 4)
地域リハビリテーションにおける グループ訓練	24: 10 (. 10)	新人理学療法士へのメッセージ	27: 4 (. 4)
整形外科；スポーツ障害を中心に	24: 11 (. 11)	教育	27: 5 (. 5)
いす	24: 12 (. 12)	小児の理学療法	27: 6 (. 5)

精神障害と理学療法 ……………27： 7 (1993. 7)	脳卒中片麻痺に対する理学療法；
整形外科疾患と理学療法 ……………27： 8 (. 8)	15 年の変遷 ……………29： 4 (1995. 4)
高次脳機能の最近の話題 ……………27： 9 (. 9)	外来理学療法の再検討 ……………29： 5 (. 5)
呼吸器機能障害の理学療法 ……………27：10 (. 10)	運動発達障害；新生児からのアプ
健康増進と理学療法 ……………27：11 (. 11)	ローチ ……………29： 6 (. 6)
脳性麻痺児の生活指導 ……………27：12 (. 12)	関連領域—頭頸部の障害とリハビリ
	リテーション ……………29： 7 (. 7)
理学療法研究の取り組み ……………28： 1 (1994. 1)	骨・関節疾患のバイオメカニクスと
脳卒中リハビリテーションプログ	理学療法 ……………29： 8 (. 8)
ラムの各段階に応じた理学療	カンファレンスの在り方 ……………29： 9 (. 9)
法 ……………28： 2 (. 2)	運動コントロールと運動学習 ……………29：10 (. 10)
理学療法業務の見直し ……………28： 3 (. 3)	病棟訓練 ……………29：11 (. 11)
嚥下障害 ……………28： 4 (. 4)	廃用症候群と理学療法 ……………29：12 (. 12)
新人理学療法士へのメッセージ ……………28： 4 (. 4)	
治療を目的とした装具と運動療法	O ₂ Kinetics ……………30： 1 (1996. 1)
……………28： 5 (. 5)	高齢脊髄損傷 ……………30： 2 (. 2)
障害予防 ……………28： 6 (. 6)	スポーツ外傷 ……………30： 3 (. 3)
臨床実習教育 ……………28： 7 (. 7)	脳卒中における実用歩行訓練 ……………30： 4 (. 4)
高齢の整形外科的疾患患者に対す	姿勢調節 ……………30： 5 (. 5)
る理学療法 ……………28： 8 (. 8)	高齢者と運動 ……………30： 6 (. 6)
生活関連動作 ……………28： 9 (. 9)	地域リハと病院リハの連携—理学
脊髄損傷者の社会参加と QOL の	療法士の役割 ……………30： 7 (. 7)
向上 ……………28：10 (. 10)	理学療法における基礎研究 ……………30： 8 (. 8)
中途視覚障害者の理学療法 ……………28：11 (. 11)	高次脳機能障害をもつ患者の理学
ハンドセラピー ……………28：11 (. 11)	療法 ……………30： 9 (. 9)
脳外傷 ……………28：12 (. 12)	退院前指導とそのフォローアップ
	……………30：10 (. 10)
世界は今 ……………29： 1 (1995. 1)	特別養護老人ホームにおける理学
Duchenne 型筋ジストロフィー ……………29： 2 (. 2)	療法 ……………30：11 (. 11)
疼痛 ……………29： 3 (. 3)	理学療法の展望 ……………30：12 (. 12)

〈講座〉 テーマ一覧

下肢の装具 …………… 1： 1～2 (1967)	…………… 2： 2～6 (1968), 3： 1～3, 5, 6 (1969)
精神障害への作業療法 …………… 1： 1～3 (1967)	陶 芸…………… 2： 6 (1968), 3： 1, 2 (1969)
手術後の呼吸管理と理学療法士 …………… 1： 2 (1967)	電気療法—基礎から臨床へ
手副子 Hand Splint …………… 1： 3, 4 (1967)	…………… 3： 1～4, 6 (1969), 4： 1～4, 6 (1970)
義 足 …………… 2： 1～3 (1968)	子どもの発達 …………… 3： 1～4 (1969)
医学的心理学 …………… 2： 1～5 (1968)	下肢義足のチェックアウト …………… 3： 4 (1969)
心身障害児をもつ親との接触につ	大腿義足のチェックアウト …………… 3： 5 (1969)
いて …………… 2： 5 (1968)	温熱療法の原理 …………… 3： 6 (1969)
革細工 …………… 2： 5 (1968)	運動療法の原理…………… 3： 6 (1969), 4： 1, 2 (1970)
理学療法における寒冷の応用治療	義 手 …………… 4： 1～3 (1970)
について …………… 2： 6 (1968)	精神薄弱児の育て方 …………… 4： 4, 6 (1970)
ファシリテーション・テクニック	脳性麻痺児の更衣の指導 …………… 4： 4～6 (1970)

木 工	4 : 4, 5 (1970)	心理学シリーズ	
手指の運動学	5 : 1 ~ 3 (1971)	I. 発達心理	15 : 2 ~ 4 (1981)
トランスファー・テクニク	5 : 1, 2 (1971)	II. 知覚と認知	18 : 7 ~ 12 (1984)
運動療法の実際	5 : 3 ~ 5, 7 (1971)	交流分析	15 : 5 ~ 7 (1981)
骨 X 線像の基礎知識		運動生理学	15 : 7 ~ 12 (1981)
.....	5 : 4, 5, 7 (1971), 6 : 1, 2 (1972)	老 人	16 : 3 ~ 12 (1982)
モザイク	5 : 4, 5 (1971)	障害児と母子関係	16 : 7 ~ 12 (1982)
失行症, 失認症をどう理解するか		痛みの生理学	17 : 1 ~ 11 (1983)
.....	6 : 1, 2, 4 (1972)	薬物療法の基礎知識	17 : 8 ~ 12 (1983)
神経筋障害の治療における PNF	6 : 3 ~ 6 (1972)	PT・OT のためのマイコン入門	
筋神経の生理学	7 : 1 ~ 12 (1973)		18 : 1 ~ 6 (1984)
フィンガーペインティング	7 : 9, 10, 12 (1973)	障害学概論	18 : 1 ~ 6 (1984)
.....	8 : 1, 3 (1974)	社会リハビリテーション	18 : 7 ~ 12 (1984)
対談: PT・OT と研究	8 : 1 ~ 5 (1974)	痴 呆	19 : 1 ~ 6 (1985)
絵画療法	9 : 5 ~ 7 (1975)	医事法規	19 : 3 ~ 5 (1985)
統計学	10 : 2, 3, 5 (1976)	摂 食	19 : 6 ~ 12 (1985)
.....	16 : 1 ~ 6 (1982)	小児の運動発達	19 : 7 ~ 12 (1985)
行動変容理論について	11 : 1, 3, 4 (1977)	歩行(基礎から臨床まで)	20 : 1 ~ 9 (1986)
運動学シリーズ		リハビリテーションと力動精神医学	
I. 歩行	9 : 2 ~ 6 (1975)		20 : 2 ~ 5 (1986)
II. 肩・肘・手関節の Kinesiology		障害者の職業問題	20 : 9 ~ 12 (1986)
.....	9 : 9, 10, 12 (1975)	手指の障害学(基礎編)	20 : 6 ~ 10 (1986)
III. 手の運動学	10 : 2, 3, 5 (1976)	神経心理学	21 : 1 ~ 6 (1987)
IV. 股関節の運動学	10 : 6, 7, 10 (1976)	手指の障害学(臨床編)	21 : 3 ~ 6 (1987)
V. 膝関節の運動学	11 : 1, 3, 4 (1977)	老人保健法と老人保健施設	21 : 3 ~ 6 (1987)
VI. 足部と足関節の運動学	11 : 7 ~ 9 (1977)	生理機能計測	21 : 7 ~ 12 (1987)
VII. 姿勢と体幹・頸の運動学		運動学習	22 : 1 ~ 12 (1988)
.....	11 : 10 ~ 12 (1977)	障害者と職業	22 : 1 ~ 12 (1988)
教育学シリーズ		理学療法評価	23 : 1 ~ 12 (1989)
I. 理学療法教育論	12 : 1 (1978)	科学としての理学療法学	23 : 1 ~ 12 (1989)
II. 作業療法教育論	12 : 2 (1978)	リハビリテーションと住宅改造	24 : 1 ~ 6 (1990)
III. 教育哲学	12 : 3 (1978)	人間関係論	24 : 7 ~ 12 (1990)
IV. 教育方法	12 : 4 ~ 6 (1978)	姿勢	25 : 1 ~ 6 (1991)
V. 教育心理学	12 : 7, 8 (1978)	老年医学	25 : 7 ~ 12 (1991)
VI. 教育評価	12 : 9, 10 (1978)	CT と MRI	26 : 1 ~ 6 (1992)
VII. 社会教育	12 : 12 (1978)	障害者・高齢者のための住宅	26 : 7 ~ 12 (1992)
失語症	12 : 5 ~ 8 (1978)	地域リハビリテーション	27 : 1 ~ 6 (1993)
住まいと身体障害	13 : 1 ~ 5 (1979)	物理療法	27 : 7 ~ 12 (1993)
失行症・失認症	13 : 3 ~ 11 (1979)	動作分析	28 : 1 ~ 6 (1994)
CT スキャン	13 : 9 ~ 12 (1979)	行動科学	28 : 7 ~ 12 (1994)
てんかんとリハビリテーション	13 : 6 ~ 8 (1979)	理学療法教育論	29 : 1 ~ 6 (1995)
理学療法概論	14 : 1 ~ 6 (1980)	車いす・義肢・装具の臨床知識	29 : 7 ~ 12 (1995)
作業療法概論	14 : 7 ~ 12 (1980)	運動療法とリスク管理	30 : 1 ~ 4 (1996)
中枢神経制御の生理学	14 : 3 ~ 7, 11 (1980)	社会医療経済学	30 : 5 ~ 8 (1996)
関節のモビリゼーション	15 : 2 ~ 4 (1981)	疲労	30 : 9 ~ 12 (1996)